

女性、子どもたちへの性暴力 —被害の現状と支援を探る— ～福祉施設利用者から見える背景と課題～

1. 主 旨

近年、女性、子ども等に対する、性暴力や性虐待による被害者が増加しています。福祉施設の利用者の中にも、子どもの頃に性虐待を受けてきた人、性虐待を受け続けてきた人がいることがわかり始めました。このような被害者への適切な支援と性暴力・性虐待の被害を未然に防止していく取組みが緊急の課題となっています。

そのため、東京都社会福祉協議会では、この問題について機を逃さず取り上げるべく、今年度、学識経験者、福祉施設職員等から構成される「性暴力被害者支援に関する連絡会」（以下「連絡会」という）を立ち上げました。「性暴力は容認できない行為」との認識のもと、福祉施設利用者の暴力被害の現状、背景を把握し、施設や専門機関のネットワークを活用し「性暴力被害者」への支援策の検討を重ねてまいりました。

このたび、これまでの検討過程を踏まえて、福祉関係者をはじめ、関係する機関・団体の皆様とさらに問題意識を深め、共有いたしたく、下記によりシンポジウムを開催することにいたしました。

支援者として何ができるのか、何をなすべきか。被害者を支援する立場として、シンポジウムをとおして、ぜひ一緒に議論できればと思っています。

2. 主 催 東京都社会福祉協議会 性暴力被害者支援に関する連絡会

3. 日 時 平成22年2月20日(土) 13:30~16:30 (受付13:00~)

4. 会 場 飯田橋レインボービル 7階 大会議室

(会場に駐車場は僅かしかございませんのでお車でのご来場は極力ご遠慮ください)

5. 内 容

①基調説明(30分)

講師：湯澤 直美 氏(連絡会座長、立教大学コミュニティ福祉学部教授)

②シンポジウム「福祉施設利用者から見える背景と課題」(140分)

コーディネーター 湯澤 直美 氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

コメンテーター 白川 美也子 氏(昭和大学精神神経科特任助教、精神科医)

シンポジスト 母子生活支援施設、更生福祉施設、更生保護施設各職員

6 対象者 児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、婦人保護施設、更生施設、知的障害者施設、行政関係者、関係機関・団体、学校関係者、その他

7. 参加費 1,000円(当日、受付でお支払いください)

8. 定 員 150名(原則として先着順)

9. 申込み方法 別紙参加申込書に必要事項を記入し、FAXでお申し込み下さい。

10. 問い合わせ・連絡先

F A X 0 3 - 3 2 6 8 - 0 6 3 5

東社協 児童・障害担当 行

「女性・子どもたちへの性暴力 -被害の現状と支援を探る-」 参加申込書 (H22. 2. 20開催)

○参加申込み締切 平成22年2月12日(金)

○参加者氏名

所属施設・団体名	氏名	職名

〔会場案内図〕

(JR総武線「飯田橋駅」西口または、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線「飯田橋駅」の神楽坂下B3出口より徒歩約5分)

